

第1回 西宮市立中央病院の跡地にかかる地域懇談会 議事概要

開催日時：令和元年10月3日 13:30～15:30

開催場所：西宮市立中央病院 講義室

出席委員：11名（欠席委員なし）

事務局：西宮市立中央病院 病院改革担当部、株式会社地域経済研究所（アドバイザー）
株式会社PPI計画・設計研究所（協力会社）

傍聴の可否：可（傍聴者2名）

配付資料：資料①市政ニュース他／資料②懇談会設置要綱／

資料③跡地活用の検討イメージ／

資料④病院統合スケジュール案／資料⑤西宮市情報公開条例（抜粋）他／

資料⑥影響調査の結果について／資料⑥参考資料／資料⑦調査結果

【議事概要】

1 開会

開会に際し、西宮市立中央病院（以下「中央病院」という。）の院長から挨拶が行われた。

2 議事

（1）本懇談会の役割

本懇談会の役割として、事務局から資料①から資料④を説明した。

（2）懇談会の運営について

①委員紹介

事務局の紹介後、各委員の自己紹介を行った。

②座長の選任

互選により座長が選任された。

③会議の公開、非公開の決定

事務局から資料⑤の説明があり、会議を公開することを決定した。

④傍聴要領の決定について

傍聴要領について決定し、傍聴者が入室した。

(3) 中央病院の閉院による周辺地域の医療環境への影響調査の結果について

事務局から資料⑥について説明を行い、中央病院の閉院による周辺地域の医療環境への影響 調査の結果を報告した。

(4) サウンディング型市場調査の結果について

事務局から資料⑦について説明を行い、サウンディング型市場調査の結果を報告した。

(5) 意見交換

委員 跡地は売却するのか、それとも、市が公的な利用で活用するのでしょうか。

事務局 公的な利用の検討も必要ですが、現在病院がある場所ですので、まずは医療についてどうするかということを中心に検討することにしています。また、今後、何らかの公的利用の検討を行います。跡地に何らかの医療機能が必要だとしても、民間活用が前提と考えており、土地を売却するのか、貸すのかということは今後の協議になると思います。先程も説明しましたが、跡地活用を検討するうえで、①用途、②収益（売却や賃貸する場合の適正価格の設定）③地域・近隣への配慮、以上を十分考えて決定することになります。したがって、民間活用の場合、財政面の検討は必要になります。

委員 サウンディングの場で地域の意見を聴く考えはなかったのでしょうか。

事務局 今回のサウンディング調査は、民間事業者から活用手法の提案を聴こうという趣旨で行いました。地域の方々については、この懇談会の場で広く意見をお聴きしたいと考えています。

委員 市内に大きな公園がないので、公園にしたらどうですか。どんどんマンションが建設され、子どもが増えるので、将来を担う子どものためにもイギリス式の全面芝生の公園があればいいと思います。

委員 統合病院へ通院することになると、タクシー代などの経済的な負担が今までよりかかるので、敷地の半分は病院として残し、残りの半分は防災公園にしたらどうかという意見が地域の会議では多くありました。

委員 民生委員として高齢者の実態調査と赤ちゃん訪問をしています。ここに病院があるから、この場所に来たという意見をよく聴きます。何かあった時に近くに病院が必要であると言っています。検査や通院であっても、この近さだから来やすいという面があり、統合病院へ通院することになれば、経済的に負担が大きくなるので、病院難民になると言っている人もいました。

また、高齢者マンションが近くにありますが、経済的にみんなが入れるわけではないので、一般の人が入れるような施設が欲しいということを行う人もいました。

委員 中津浜線の西側にはまだ病院はありますが、中津浜線の東側や段上地区には、病院がなく、(統合病院への)アクセスも悪いです。この場所に来るのもタクシー代などがかかり大変です。これが統合病院までとなるとより負担がかかることになるという意見を聴きます。

在宅医療といわれていますが、中津浜線の東側や公営住宅は高齢者が多く、老々介護になっているので、中央病院がなくなるということを不安に感じている人が多いです。また、地域にどんどん住宅が増えており、今後、子どもたちの救急医療も必要となってきます。近隣で入院できる施設がこの病院しかないので、民間の医療法人が買い取るなどしてほしいです。

座長 今まで利用していた人にとって、病院がなくなることは困るかと思います。

委員 資料⑦に「建物をコンバージョンすることは困難」とありますが、建物は全部壊すことになるのでしょうか。

事務局 (取り壊すということは) 事業者の意見ですが、サウンディングの際には建物を継続して利用していくことが難しいという意見が多かったです。

委員 私は、取り壊しが前提という意見には否定的です。

委員 閉院するまで6年ありますが、活用を希望する医療法人等の事業者がいなければ、いつまで待つのでしょうか。どこかで線引きする必要があります。

事務局 そこまではまだ決めていません。まずは医療として利用するかを決めて、その後、残地についてどうするのかということを検討することになります。具体的な話がなければ、絵に描いた餅となるので、事業者に対して

ヒアリングを続け、感触を確かめながら進めていく必要があると思います。

委員 近隣では、回復期の患者を受け入れる病院が少ないです。統合病院は高度急性期や急性期を担い、在院期間が短い病院となるので、退院した人が家に戻るまでのワンステップとして、跡地に回復期の患者が入院できる病院があればいいと思います。現状、胃カメラやCTなどの検査のために中央病院を利用していることも多いので、回復期に加えて、一定の検査も可能な医療機関であればありがたいです。

今後、認知症の患者が増えてきますが、状態が落ち着かなくベッドから落ちて怪我をしたりした場合や少し回復した場合の受け入れ先が少ない状況であります。認知症に対する専門的な知識を持ったスタッフがいて、そうした認知症患者も受け入れてくれる病院であればいいと思います。

委員 回復期とはいえ中央病院跡地に市が病院をつくるとなると、統合病院と役割が重なる可能性もあるのではないのでしょうか。みんなが満足することは難しいので、どこかで線引きをしないといけないと思います。

事務局 統合病院に（中央病院の）機能が移転することになるので、同じような病院を市がつくるということは考えていません。跡地に医療が必要となれば、民間医療機関の誘致が前提となります。

委員 この地域は子どもの数が多いので、敷地の一部でもよいので幼稚園（こども園）が欲しいという意見を聴きます。

委員 駅までの経路上にある幼稚園や保育園に希望が集中しますが、少し離れたところであれば入れる状況ではあるので、我慢してもらうことも必要かなとは思いますが。

地域の方の意見を聴いたところ、この中央病院がなくなると困る人がほとんどでした。縦のアクセスが本当に悪いので、この場所に回復期の病院があればいいということが大多数の意見でした。

委員 （跡地に）高度医療はいらないので、それほど費用をかける必要はないと思います。財政状況から市にお願いするのは難しいので、民間の力を活用するということがいいのではないのでしょうか。やはり、これからどんどん認知症患者が増えるので、認知症の検査や治療ができる認知症にも特化した施設があれば、全国的にもそのような施設はないので、市としてもチャンスだと思います。そのためには、精神科、神経内科、内科の3つが揃

っている必要があります。

委員 (入院はできない) クリニックモールのようなものを建てて、残りは防災公園にしてほしいです。敷地の半分でも別の利用があればいいという意見もありました。

委員 そのような施設より、開業医では対応できないような医療ができる施設が望ましいと考えています。

座長 防災公園が必要という意見がありましたが、高木公園が防災公園としてあるので、この場所に(防災公園は)必要なのでしょうか。

事務局 救急について、皆様はどのようにお考えでしょうか。救急車で搬送されるようなケースでは交通の便は問題になりませんが、徒歩等で来られていた救急患者については、応急診療所などで対応することになりますが、利便性が下がることもあると思います。

委員 ないよりはあったほうがいいです。

委員 15分あれば応急診療所へ行けるので、必ずしもここに必要はないと思います。

委員 応急診療所は365日空いているので、かなり利用者が多く、待ち時間も長い状況です。この場所に医療機関ができるのであれば、365日救急対応してほしいです。

委員 サウンディングに参加した医療法人の感触はどうだったのですか。

事務局 どちらかと言えば、可能性を探っている状況だと思います。是が非でもここに病院を建てたいということではないので、引き続き、事業者に対してヒアリングを実施していく必要があると考えています。

委員 2025年までまだ時間があり、そこまでは中央病院も存続しているので、今すぐに(跡地の活用法を)決める必要はないと思います。サウンディングの内容を濃くしていきながら、認知症患者を受け入れる医療機関という話など、色々な可能性を検討されてはいかがでしょうか。

事務局 (跡地の活用検討については) 少しずつ積み上げていく必要がありますし、統合病院の基本計画の発表に際して、跡地活用についての一定の方向性を示しておく必要があると考え、今このタイミングで皆様のご意見をお伺いしているところです。

また、例えば、民間医療機関を誘致する際、既存の病院が移転してくる

ことも考えられます。その場合、早くに決めることで現施設への設備投資を控えることができるということも聴いていますので、早く活用法を決めることは、民間医療機関を誘致する場合には有利に働きます。

座長 皆様は地域の代表として参加していただいています。病院が欲しいという意見が多ければ、(市としても)その方向で考えてもらいたいです。

私としては早いうちに決めてもいいと思います。公募して、応募者がなれば、またこのような会を開催し、現実にあった利用方法を検討すればいいと思います。

5 閉会

座長 それでは、第1回懇談会を終わりたいと思います。お疲れ様でした。
事務局 本日はありがとうございました。